



市政記者クラブ加盟社 各位

四十四田ダムが土木学会選奨土木遺産認定を受け盛岡市長に認定書が授与されます

この度、「北上川上流総合開発ダム群」（5つの多目的ダム）が土木学会選奨土木遺産に認定されました。

北上川上流総合開発ダム群（5大ダム）は、北上川流域の治水を最大の目的にしながら、発電・灌漑用水・上水などの機能を併せた多目的ダム群として地域を支える土木構造物群です。この度の土木遺産認定は、岩手県内のダムとして「初」、ダム群としては「全国初」の認定となるものです。

なお、認定書の授与は地域資産として、ダムが所在する自治体外が受けることになり、対象ダムは次のとおりです。

四十四田ダム：盛岡市長
御所ダム：雫石町長
湯田ダム：西和賀町長外
田瀬ダム：花巻市長外
石淵ダム：奥州市長外

記

【日時】令和3年11月26日（金）午前10時30分～

【場所】盛岡市地域交流センター（マリオス）188会議室

【認定概要】

- 名称 北上川上流総合開発ダム群
- 認定年月日 令和3年9月17日
- 完成年 石淵ダム 昭和28年6月
田瀬ダム 昭和29年10月
湯田ダム 昭和39年11月
四十四田ダム 昭和43年10月
御所ダム 昭和56年10月

【出席者】認定を受けるダム所在地の首長，土木学会，国土交通省ほか

【主催者】（公社）土木学会東北支部，北上川ダム管理協議会

土木学会選奨土木遺産とは

土木学会選奨土木遺産の認定制度は、土木遺産の顕彰を通じて、歴史的土木構造物の保存に資することを目的として平成12年度に創設されました。

土木学会としては、その結果として、

1. 社会へのアピール（土木遺産の文化的価値の評価，社会への理解等）
2. 土木技術者へのアピール（先輩技術者の仕事への敬意，将来の文化財創出への認識と責任の自覚等の喚起）
3. まちづくりへの活用（土木遺産は、地域の自然や歴史・文化を中心とした地域資産の核となるものであるとの認識の喚起）
4. 失われるおそれのある土木遺産の救済（貴重な土木遺の保護）などが促されることを期待しているものです。

【問い合わせ先】

盛岡市建設部河川課
担当：課長補佐 佐々木 正行
TEL：019-626-7572